

令和 2 年度

事業計画書

収支予算書

公益財団法人 舞鶴市文化事業団

令和2年度 公益財団法人舞鶴市文化事業団
事業計画書・収支予算書等

目 次

1. 事業計画書	-----	1
2. 収支予算書	-----	7
3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	-----	11

令和2年度 事業計画

1. 基本方針

舞鶴市文化事業団では、「優れた文化芸術に親しむ機会をより広く市民に提供するとともに、文化芸術の創造活動の奨励及び育成を図り、もって心豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」ことを目的とした事業を実施してきました。

令和2年度は、舞鶴市総合文化会館の第4期指定管理期間の最終年度として、また、舞鶴市陶芸館の指定管理者2年目として、この目的と舞鶴市文化振興基本計画の理念を念頭に置いて、文化芸術の振興・発信など積極的に取り組んで参ります。

2. 事業内容

(1) 豊かな文化芸術環境づくり（鑑賞機会の提供事業）

音楽から伝統芸能まで市民のニーズを反映した様々な分野の優れた舞台公演を実施し、小さな子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が本物の舞台芸術を身近に鑑賞できる機会を提供します。ただ鑑賞するだけでなく、市民が参加できるような企画を盛り込み、より身近に文化芸術に触れていただけるような工夫をします。

【舞鶴市総合文化会館・舞鶴東コミュニティセンター】

No.	事業名	実施時期	事業概要	見込み人数
1	日本センチュリー交響楽団 舞鶴公演	調整中	オーケストラのクラシック演奏会。 指揮、独奏者調整中。 [関連事業]吹奏楽バンドクリニック	650
2	米村でんじろうサイエンスショー	8/ 2(日)	米村でんじろうによる教育とエンターテイメントを融合させた「楽しく学べる」ファミリー向けサイエンスショー。2回公演。	1,200
3	〈宝くじまちの音楽会・ 自治総合センター助成事業〉 岩崎宏美 with 宗次郎 ～心のふるさとを求めて～	10/29(木)	岩崎宏美とゲストにオカリナ奏者 宗次郎を迎え、歌と演奏と地元合唱団との共演もあるコンサート。	900
4	〈(一財)地域創造助成事業〉 公共ホール音楽活性化支援事業	2/20(土)	未就学の子どもから大人まで家族で楽しめる絵本の朗読もあるクラシック音楽の演奏会。 中川賢一(ピアノ)、神谷未穂(ヴァイオリン)、鶴木絵里(声楽)	300
5	第十四回 舞鶴寄席	3/14(日)	伝統芸能である「落語」を身近に鑑賞できる機会として、地元出身落語家にゲストを加えた落語会。 (小ホール) [関連事業]落語ワークショップ	200

(2) 市民による自主文化活動の促進・支援（提案型施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンター及び舞鶴市陶芸館の各施設を、市民による自主文化芸術活動の発表あるいは練習の場として広く市民に開放し、地域住民の文化芸術活動への支援や文化を通じた市民の交流の促進を図り、地域文化のレベルアップと市民の文化活動の育成に努めます。

単なる施設貸与を行うのではなく、舞台・照明・音響等について専門的なアドバイスや指導を積極的に行い、施設を利用する市民と一緒に完成度の高い舞台創りに努め、市民文化の環境づくりを推進します。

また、市民の幅広いニーズに応えるために、各年齢層に人気のある舞台公演や、芸術性の高い舞台公演の積極的誘致に努め、文化の幅の拡大、文化活動の活性化を推進します。

舞鶴市陶芸館を、陶芸体験により文化芸術に出会う機会を創出するアートスタートの場として、専門的なアドバイスや指導を積極的に行い、誰もが利用しやすい施設運営に努めます。

(3) 地域文化の創造と人材の育成（創造・普及・育成事業）

地域文化の創造と、地域文化の新たな担い手となる人材育成を目的に、中長期的視野に立って、広範囲なワークショップ、アウトリーチ、体験講座や教室を計画しています。次代を担う子どもたちや、施設を訪れる機会のなかった市民が本物の文化芸術に触れる機会を提供するために、地域や学校にプロのアーティストや、地元の文化芸術団体と連携して講師を派遣したり、親子で体験できるなど市民が参加しやすいプログラムを企画したりし、潜在的な能力の発掘や子どもたちの文化力育成につながるメニューを工夫します。

【舞鶴市総合文化会館・舞鶴東コミュニティセンター】

No.	事業名	実施時期	事業概要	会場
1	落語ワークショップ	5～8月	舞鶴出身の落語家 笑福亭遊喬を講師に、落語の楽しさを体験するワークショップ。5回の稽古を経て、成果発表を行う。	会館
2	〈(一財)地域創造助成事業〉 音楽アウトリーチ	2/18(木) 2/19(金)	子どもたちが、本物の音楽に触れる機会を設けるために、プロのアーティストが訪問して音楽指導。楽器の構造を学んだり、生の演奏を体験する。	学校
3	まいづる物語プロジェクト2020	12月	3年計画で行うプロジェクトの最終年。公募した“まいづる”の写真とエピソードを基に制作した演劇の上演と写真展の開催。 作・演出/ごまのはえ(演出家) 出演/ニットキャップシアター、公募市民	会館
4	吹奏楽バンドクリニック	調整中	オーケストラ楽団員の指導による吹奏楽のワークショップ。	学校

5	舞鶴アート・プログラム・ デリバリー2020	通年	舞鶴市教育委員会、舞鶴市文化協会との連携により、文化芸術団体から講師を選定し、学校や地域へ派遣する教育プログラム。	学校 地域
---	---------------------------	----	---	----------

【舞鶴市陶芸館】

No.	事業名	実施時期	事業概要	見込み 人数
1	陶芸講座 手びねり 初級 中級 自由作陶	5～11月	専門講師の指導で、陶芸の基礎である手びねりを学ぶ6～7回のコース。	60
2	陶芸講座 ろくろ 初級 中級	5～10月	専門講師の指導で、電動ろくろの基礎を学ぶ5回コース。	20
3	陶芸講座 絵付け	10～12月	専門講師の指導で、絵付けの技術を学ぶ5回コース。	15
4	親子陶芸教室 手びねり ろくろ	6月	親子で手びねりや電動ろくろによる陶芸を体験する。	150
5	器を作ろう！（成形～削り）	10/31(土) 11/ 1(日)	成形から削りまでを2日間で体験。	10
6	1日ろくろ体験教室	11/15(日)	体験する機会の少ない電動ろくろでの作陶を体験。	10
7	ものづくり教室 干支・ひな人形	10/25(日) 12/ 6(日)	四季折々の行事やテーマに合わせた小物を作る体験教室。	120
8	小学生のための陶芸体験教室	調整中	送迎バスを配車し、市内の小学生が陶芸館を訪れ陶芸について学習したり作品作りを体験する機会を設ける。 教育委員会、学校と調整し5校程度実施。	-

(4) 文化力の向上と地域コミュニティの活性化（参加交流活性化事業）

音楽をはじめとする創作活動を主体的に行っている市民の文化芸術活動を支援するとともに日頃の成果を発表する機会を提供することにより、市民の文化交流の活性化を図ります。

ホールの空き日を利用して、総合文化会館大ホールの舞台裏を巡るツアーやフルコンサートピアノの最高峰と言われるスタインウェイを市民が試奏できる機会を設けます。

また、和太鼓や合唱など地元の文化団体の自主的な活動の支援に努めます。

舞鶴市陶芸館の知名度向上を目的に、青葉山ろく公園の他の施設と連携しながら陶芸館前の芝生広場でコンサートを開催したり、市民の陶芸作品を舞鶴市総合文化会館に集めて開催する陶芸展と演奏会のコラボレーションを実施することにより、文化活動する市民とそれを鑑賞する市民が参加・交流する機会を創出します。

【舞鶴市総合文化会館・舞鶴東コミュニティセンター】

No.	事業名	実施時期	事業概要	見込み 人数
1	憧れのスタインウェイを弾いてみよう！	4/28(火)～ 5/ 6(水)	音響反射板を設置した舞台上でスタインウェイを弾く市民を公募。	60
2	劇場のひみつ ～総合文化会館を探検しよう～	7/23(木)	大ホールの普段は見るできない施設や設備を市民に公開。	40
3	MAIZURU CITY COLLECTION 2020	8/16(日)	市民自らが地域の課題解決や活性化を図る活動を実践し、「市民力」による魅力あるまちづくりを行うことを目的に、市民参加のファッションショーや食の祭典を、市民が主体となって事業展開する。(小ホール他)	1,200
4	ミュージック フェスティバル 2021	3/ 7(日)	本市を中心に音楽活動をする個人・団体が出演。プランナーズ'21 と出演者が実行委員会を組織し実施。	400
5	コミュニティコンサート コミュニティ作品展	年 3 回	市民文化活動の発表・育成支援の場として開催。プランナーズ'21 との連携事業。	1,000
6	NHKのど自慢	6/14(日)	NHK京都放送局、舞鶴市と共催	1,400
7	赤れんが公募美術展 舞鶴市展 2020	6 月	舞鶴市と共催 (舞鶴赤れんがパークで実施)	—
8	第 34 回中丹文化芸術祭 「中丹写真展」	10 月	中丹文化芸術祭実行委員会と共催	—
9	令和 2 年度 舞鶴市総合文化祭事業	10～11 月	舞鶴市文化協会と共催 (舞鶴市内各施設で実施)	—
10	ニューサウンズ オーケストラ 50 周年記念コンサート	11/ 7(土)	ニューサウンズ オーケストラと共催	800
11	第 49 回舞鶴市民合唱祭	11/15(日)	舞鶴市民合唱祭実行委員会と共催	800
12	第 20 回 舞鶴和太鼓フェスティバル	12/ 6(日)	舞鶴和太鼓連盟と共催	1,000

【舞鶴市陶芸館】

No.	事業名	実施時期	事業概要	見込み 人数
1	陶芸館 野外コンサート	調整中	青葉山ろく公園でのイベントに合わせて、陶芸館前の芝生広場で野外コンサートを実施し、陶芸館での活動を周知する。	—
2	日展鑑賞バスツアー	1月	京都市京セラ美術館で開催される日展巡回展の鑑賞ツアーを、地元観光会社との提携により広く市民を公募して実施し、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の各部門の質の高い芸術作品に触れる機会を提供する。	70
3	まいづる陶芸展	3月	陶芸講座や教室の作品や市内の陶芸愛好家の作品を、一堂に展示する陶芸作品展。「陶芸」や「陶芸館」の取組みを周知する。	300

(5) 文化施設の管理運営（公益目的事業以外の施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンター及び舞鶴市陶芸館の指定管理者として、市民の教養活動や福祉の増進、あるいは興行・商業振興等、公益目的以外でも、舞鶴市民並びにその他の者に各施設を貸与することにより、利用者の利便を図り施設の有効活用に努めます。

また、そのためにも施設・設備等の点検を強化し、「安全」「安心」「快適」な施設を提供していきます。

3. 法人の効率的運営と文化振興の推進機能向上の取り組み

(1) 情報公開推進への取り組み

ホームページを随時更新し、情報公開の推進、積極的な情報発信に努めます。

(2) 市民サービス向上への取り組み

- チケットのインターネット販売システムの利用を促進するためのより積極的な周知に努めます。
- 舞鶴市の文化情報検索・発信サイト「まいづる文化情報」の適切な運用を促進し、市内で活動する文化団体や、ホール、公民館等で行われている催し物などの文化情報をタイムリーに提供します。
- 利用者の意見・要望を集約し、顧客情報の集積・管理することにより、よりよい運営につなげます。
- 市民が文化芸術に参加する機会を確保し、参加することにより間接的に施設の事業や運営の支援につながることを目的に設置した「友の会」の円滑な運営を行います。

(3) 管理コスト削減への取り組み

極めて厳しい財政状況を踏まえ、事業の実施に当っては創意工夫による経費節減に努める

とともに、各種団体の助成金・助成事業の獲得など支援先の確保に努め、収支状況の改善に積極的に取り組みます。

(4) 職員の資質向上について

公益事業を推進する組織の一員として、当事業団が本市の文化振興を担う職責と公益的使命をより深く自覚し、施設の管理運営だけでなく、本市の文化振興を総合的にプロデュースするという、当事業団に求められている役割に応えられるよう職員の資質向上に努めます。

令和2年度 収支予算書

令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,000	1,000	0	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
② 受取会費	300,000	250,000	50,000	
受取会費	300,000	250,000	50,000	
③ 事業収益	27,111,000	24,185,000	2,926,000	
利用料収益	11,820,000	12,710,000	△ 890,000	
入場料収益	8,518,000	5,505,000	3,013,000	
実費徴収金収益	5,450,000	5,480,000	△ 30,000	
手数料等収益	1,323,000	490,000	833,000	
④ 受託収益	48,003,000	40,369,000	7,634,000	
管理受託収益	48,003,000	40,369,000	7,634,000	
⑤ 受取補助金等	25,158,000	49,994,000	△ 24,836,000	
事業補助金	1,800,000	1,869,000	△ 69,000	
管理運営補助金	23,358,000	48,125,000	△ 24,767,000	
⑥ 雑収益	733,000	585,000	148,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	732,000	584,000	148,000	
経常収益計	101,306,000	115,384,000	△ 14,078,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	116,628,965	117,894,417	△ 1,265,452	
報酬	176,000	86,000	90,000	
給料	32,200,580	36,181,020	△ 3,980,440	
職員手当	8,738,575	11,637,163	△ 2,898,588	
職員退職給付費用	1,589,760	1,955,520	△ 365,760	
賞与引当金繰入額	2,275,196	3,269,076	△ 993,880	
福利厚生費	7,161,440	7,786,941	△ 625,501	
賃金	354,000	443,000	△ 89,000	
報償費	2,195,000	2,065,000	130,000	
旅費交通費	110,000	110,000	0	
消耗什器備品費	142,500	144,000	△ 1,500	
消耗品費	2,078,000	1,956,200	121,800	
燃料費	3,075,640	2,960,400	115,240	
食糧費	194,000	155,000	39,000	
印刷製本費	526,000	880,000	△ 354,000	
光熱水費	15,787,000	9,431,100	6,355,900	
修繕費	1,500,000	1,450,000	50,000	
通信運搬費	894,000	767,960	126,040	
広告宣伝費	2,703,000	2,536,000	167,000	
手数料	697,000	608,000	89,000	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
保険料	255,000	199,000	56,000	
委託費	31,439,240	31,596,510	△ 157,270	
賃借料	1,005,650	1,022,650	△ 17,000	
負担金	11,000	10,000	1,000	
租税公課	1,064,000	457,540	606,460	
減価償却費	453,384	177,337	276,047	
支払利息	0	6,000	△ 6,000	
雑費	3,000	3,000	0	
② 管理費	3,222,261	3,199,583	22,678	
役員報酬	710,000	850,000	△ 140,000	
給料	1,125,820	1,100,580	25,240	
職員手当	420,871	438,337	△ 17,466	
職員退職給付費用	66,240	60,480	5,760	
賞与引当金繰入額	94,800	101,105	△ 6,305	
福利厚生費	287,560	241,441	46,119	
旅費交通費	20,000	20,000	0	
消耗什器備品費	7,500	6,000	1,500	
消耗品費	62,000	34,800	27,200	
燃料費	30,360	29,600	760	
食糧費	5,000	5,000	0	
光熱水費	133,000	78,900	54,100	
通信運搬費	19,000	17,040	1,960	
手数料	10,000	1,000	9,000	
保険料	70,000	70,000	0	
委託費	105,760	93,490	12,270	
賃借料	1,350	1,350	0	
負担金	38,000	36,000	2,000	
租税公課	5,000	4,460	540	
雑費	10,000	10,000	0	
経常費用計	119,851,226	121,094,000	△ 1,242,774	
当期経常増減額	△ 18,545,226	△ 5,710,000	△ 12,835,226	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税等支払額	80,000	80,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 18,625,226	△ 5,790,000	△ 12,835,226	
一般正味財産期首残高	26,751,411	32,541,411	△ 5,790,000	
一般正味財産期末残高	8,126,185	26,751,411	△ 18,625,226	
II 指定正味財産の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0	
III 正味財産期末残高	18,126,185	36,751,411	△ 18,625,226	

(注) 1. 借入金限度額 20,000千円

令和2年度 収支予算書内訳表

令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
I 一般正味財産の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	1,000				1,000
基本財産受取利息	1,000	0	0		1,000
② 受取会費	300,000	0	0		300,000
受取会費	300,000	0	0		300,000
③ 事業収益	19,463,000	7,648,000	0		27,111,000
利用料収益	6,540,000	5,280,000	0		11,820,000
入場料収益	8,518,000	0	0		8,518,000
実費徴収金収益	3,530,000	1,920,000	0		5,450,000
手数料等収益	875,000	448,000	0		1,323,000
④ 受託収益	39,954,380	6,786,650	1,261,970		48,003,000
管理受託収益	39,954,380	6,786,650	1,261,970		48,003,000
⑤ 受取補助金等	24,032,180	0	1,125,820		25,158,000
事業補助金	1,800,000	0	0		1,800,000
管理運営補助金	22,232,180	0	1,125,820		23,358,000
⑥ 雑収益	55,300	617,400	60,300		733,000
受取利息	300	400	300		1,000
雑収益	55,000	617,000	60,000		732,000
経常収益計	83,805,860	15,052,050	2,448,090		101,306,000
(2) 経常費用					
① 事業費	96,353,848	20,275,117			116,628,965
報酬	146,000	30,000			176,000
給料	28,130,764	4,069,816			32,200,580
職員手当	7,604,383	1,134,192			8,738,575
職員退職給付費用	1,324,800	264,960			1,589,760
賞与引当金繰入額	1,895,997	379,199			2,275,196
福利厚生費	6,151,200	1,010,240			7,161,440
賃金	354,000	0			354,000
報償費	2,195,000	0			2,195,000
旅費交通費	97,500	12,500			110,000
消耗什器備品費	108,000	34,500			142,500
消耗品費	1,802,000	276,000			2,078,000
燃料費	2,164,840	910,800			3,075,640
食糧費	194,000	0			194,000
印刷製本費	450,000	76,000			526,000
光熱水費	11,797,000	3,990,000			15,787,000
修繕費	1,044,000	456,000			1,500,000
通信運搬費	829,600	64,400			894,000
広告宣伝費	2,703,000	0			2,703,000
手数料	521,880	175,120			697,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
保険料	203,700	51,300			255,000
委託費	24,649,350	6,789,890			31,439,240
賃借料	571,350	434,300			1,005,650
負担金	9,100	1,900			11,000
租税公課	950,000	114,000			1,064,000
減価償却費	453,384	0			453,384
雑費	3,000	0			3,000
② 管理費			3,222,261		3,222,261
役員報酬			710,000		710,000
給料			1,125,820		1,125,820
職員手当			420,871		420,871
職員退職給付費用			66,240		66,240
賞与引当金繰入額			94,800		94,800
福利厚生費			287,560		287,560
旅費交通費			20,000		20,000
消耗什器備品費			7,500		7,500
消耗品費			62,000		62,000
燃料費			30,360		30,360
食糧費			5,000		5,000
光熱水費			133,000		133,000
通信運搬費			19,000		19,000
手数料			10,000		10,000
保険料			70,000		70,000
委託費			105,760		105,760
賃借料			1,350		1,350
負担金			38,000		38,000
租税公課			5,000		5,000
雑費			10,000		10,000
經常費用計	96,353,848	20,275,117	3,222,261		119,851,226
当期經常増減額	△ 12,547,988	△ 5,223,067	△ 774,171		△ 18,545,226
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0	0	0		0
(2) 經常外費用					
經常外費用計	0	0	0		0
当期經常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0		0
法人税等支払額	0	80,000	0		80,000
当期一般正味財産増減額	△ 12,547,988	△ 5,303,067	△ 774,171		△ 18,625,226
一般正味財産期首残高					26,751,411
一般正味財産期末残高					8,126,185
II 指定正味財産の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高					10,000,000
指定正味財産期末残高					10,000,000
III 正味財産期末残高					18,126,185

令和2年度

資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 資金調達の見込みについて

年度中に借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

年度中に重要な設備投資（除却または売却を含む）の予定はありません。